行政への理解を願って

疑問に答える その1

昨年実施した町行政懇談会では、みなさんから有意義な提言をたくさんいただきましたが、中にはPR不足もあって、正しく理解されていない問題も多々ございました。

そこで今後、行政への一層のご理解とご協力を賜るため、「疑問に答える」と題して、これらの問題点を逐次解説していくことにしました。

ごみの収集袋が高い。もっと小さくてもよいから安くならないか？

答　ごみ処理事業を行う山武郡市環境衛生事業振興組合の昭和五十七年度予算は約一億六千六百万円です。

ごみ収集袋の売上げ代金は、このうち二千百九十万円で、歳入予算の十三パーセントにすぎず、残りの八十七パーセントは、組合加入の五ヵ町村の負担でまかなっています。

一方歳出予算では、焼却炉の新築工事に伴う借入金の償還と焼却に係る諸経費で九十パーセントを占め、残りの十パーセントが人件費となっています。

このうち焼却炉の電気料、重油代等だけでも三千百二十万円にものぼり、ごみ収集袋の売上げ代金ではまかないきれません。

このように一枚百四十円のごみ収集袋の代金は、袋の作製費用だけではなく、事業の運営に要する費用の一部を、利用の都度みなさんに負担していただいているもので、焼却場運営上極めて貴重な財源になっています。

したがってこの売上げ代金は、今後も受益者のみなさんに負担していただかなくてはなりませんし、運営費が減らない以上は、現在の売上げ収入を確保しなくてはなりませんので、袋を小さくして価格を相当に安くするというわけにはまいりません。

しかし希望が多ければ小型化も検討していきたいと思います。

なお、袋が大きすぎて不経済だと思う場合は、半分に切り、ミシン等で縫って半分の袋として、使用することもできますのでお試しください。

また、ごみの減量化に役立つ簡易焼却炉の設置をおすすめします。

お問い合わせは福祉保健課（二一一一）へ――

ワースト千葉 すでに42人が！

死者激増

しのびよる魔の手

いたましい交通事故、それは後をたたない。

愛する夫を、妻を、時には幼い子供の命さえも容赦なくうばいさってしまいます。

あまりにむごい交通事故！

加害者にも、被害者にもなってはいけない。

今年に入り、すでに42人もの尊い命がうばわれている。

それぞれに家族があり、死の直前まで幸せな生活を送っていたに違いない……。

スピード出しすぎ！

酒酔い運転！

火の用心　心で用心　目で用心

春の全国火災予防運動

〈2月28日～3月13日〉

横芝分署に配属された水そう付ポンプ自動車

慶弔

自．1月1日
至．1月20日
〈敬称略〉

すこやかな成長を

（出生）

氏名	保護者	部落
秋山 省吾	清	新島新田
海保 拓朗	三彦	上町
伊藤 宗和	嘉和	本町
山崎 政哉	政城	本町
湯浅 利久	朗	上町
青野 美香	三郎	栗山
鈴木 雄博	慎次	東町
石毛 美穂	洋次	本町

心からご冥福を

（死亡）

氏名	年齢	部落
浅野 秀夫	39	三本松
萩原 茂夫	40	宮脇
伊藤 房吉	84	南
寺田 キヨ	69	坂田
若梅 清継	81	栗山

あとがき

今月号から新たに二つのコーナーを設けました。

行政をより効率的に、効果的に進めるための前提として、みなさんに行政を正しく理解していただこうと、〝疑問に答える〟をスタートさせました。

また〝慶弔の記録〟は、同じ町民として、よろこびや悲しみを分かち合い、「知らなかったために大変に礼を失した」というようなことがないように、少しでもお役に立てばと掲載するものです。

今後も役立つ広報、読まれ親しまれる広報へと努力を重ねてまいりますので、よろしくお願いいたします。